

梅之木通信

【縄文住居をつくる会】

第1号 2019.5.7 発行

「縄文住居をつくる会」スタート

4月22日 仮称『縄文住居復元プロジェクト』第一回会合

プロジェクト参加に名乗りを上げた37人のうち26人が理科室に参集しました。北杜市学術課の佐野さんから、竪穴住居づくりの説明を聞くとともに、集まったメンバーで今後の進め方について議論が行われ、南さん・中村さんを中心にして世話人会を設置する事が決まりました。



* 佐野さん（北杜市教育委員会学術課 課長）
北杜市埋蔵文化センターで梅之木遺跡の発掘調査から縄文住居の復元・建築に携わってこられました。
“昨年市民ボランティアの手で二棟目の縄文住居が完成し今年ももう一棟市民ボランティアで建築予定です。
ふるさと倶楽部での建築と合わせて四棟となりますが、梅之木遺跡を五棟の集落にする予定です”

* 黒田さん（熊造園）
縄文住居一棟目の建築から参画され、今年も市民ボランティアによる建設を指導されるのに合わせて、ふるさと倶楽部での建設も手助けしていただきます。
http://kumazouen.com/jomon_tec/ 部分的ですが動画がありますので興味のある方は一度ご覧ください

4月29日 世話人会 初会合

会則が以下のように決まりましたので、最終ページに記載しました。
みなさんご確認いただき、怪我なく、遊び心の楽しい会にしていきたいと思えます。
会費につきましては、道具の購入や加入保険の内容を現在確認中ですので、後日決定次第ご連絡いたします。
また、世話人および役割は現在以下の通りですが、会則 第3項にある通り、自薦・他薦問わずいつでも歓迎ですので、ご参加をお待ちしています。

設計に関して、佐藤彰啓さんのお嬢さんにお手伝いいただけることになりました。
皆さんの得意分野を出し惜しみすることなく提供していただき、“楽しくやる”をモットーに決して無理なことはせず、『大人の遊び場』にしていければと思います。

5月7日

縄文住居建築に関する詳細説明と段取りの講義

思いのほか多くの人たちが参加され（21名）、実際に自分たちが手掛けるとなると真剣にいろいろな質問がでました。

「大変だ!」と思われたか。「やるぞ!!!」となったか。

以前、倶楽部のイベントで参加した時には、「ふ〜ん、、、」で終わっていたものが「縄は何が使われている?」、「柱の立て方は?、本数は?」、「石斧で切られた切り口?」自分の身に降りかかってくるとなると、見え方もずいぶん違って見えてきます。



代表南さん（とにかく楽しもうよ!）



佐野さんの講義



竪穴住居の中でも多くの質問がでます



昨年のボランティアで作られたハーフカット版骨組みが良く見られるようになっています

こちらの住居は、麻縄が使われていたり、ノコギリでカットされていたりして全ての木材を石斧で切り落としている訳では無いことが確認でき一安心（ホッ）



建築予定地（眺望ばつぐんです）

会則

2019. 4. 29 発行

1. 名称＝「縄文住居をつくる会」とする。
2. 会の目的＝史跡公園「梅之木遺跡」内に再現する縄文竪穴住居を、北杜市より請け負った造園業者の指導の下、同好会に参加するふるさと倶楽部会員の力で一棟建築すること。
3. 組織＝世話人を複数名選出（自薦・他薦）し、その中から代表を選ぶ。各世話人は会の運営に必要な役割をそれぞれ担う。
4. 世話人会＝世話人会は原則として月一回開くが、必要が生じた際には、その都度開催できる。
5. 事務局＝世話人会のもとに事務局を設置し、日常の運営・活動が円滑に進行することを責務とする。
6. 会計＝世話人会のもとに会計担当を設ける。徴収する入会金を管理し、諸経費および寄付などの入出金の事務を担う。
7. 広報・企画＝同好会の活動をふるさと倶楽部会員および世間一般へ宣伝、情報発信するため、特別に広報担当を設置し、FBなどのSNSを活用し運営する。また、会の活性化をはかるため、様々な企画を実施し、もって楽しい活動を実現する。
8. 会費＝入会金XXX円を徴収。これを原資として会の運用に必要な事務経費、保険費用等をまかなう。ただし、諸活動の際にかかる実費は、参加者で等分に負担する。
9. 会の運営・活動＝ふるさと倶楽部の趣意書・会則を手本とし、問題が生じた際には、まずは世話人会で協議し、同好会会員に意見交換の場を設けて、できるだけ民主的、公平な判断を導くように努力する。
10. 活動の精神＝遊びごころを基本とし楽しく活動すること、体力的にもゆとりを持って作業にのぞむことを心がける。安全を第一優先とすることは当然で、無理な作業には手を出さず、かわりに、声援を送ったり、差し入れをしてみたり、撮影・記録を担当したり、単に周辺で騒いだり、各人の個性、気分にあった参加の仕方を自由にとる。

世話人

2019. 5. 7 現在

- * 代表:南進介
- * 事務局(長):中村研一(別途事務局手伝いを数名募る)
- * 会計:佐藤新
- * 広報・企画:佐藤彰啓(石川和男、五辻活を加えグループで活動する)
- * 現場監督:南進介、後藤知行、佐藤新、溝口忠雄、石川和男で現場作業の手配、運営を担う。

【お知らせ】 ◆5月16日(木)石斧に使う石材採取ツアーです。

参加を予定しているかたは9:00 白州道の駅に集合してください。

いよいよ「縄文住居建設のための準備作業」が始まります。必要な道具や準備など世話人も分からないことだらけでご迷惑をおかけしますが、trial and error で!

◆直近1か月ほどの作業予定表を事務局からメールでお送りします。

参加可能な日程、午前/午後、それぞれに記入の上返信ください。